

整備項目表（建築物以外の路外駐車場）

名 称		所 在 地	
駐車の用に供する面積	㎡		

1 路外駐車場

整備基準		図面及び歩道等の 名称又は番号（記号）	設計内容	判定
車椅子使用者用駐車施設を1以上設置			（設置数） 台	
出入口の構造	1以上は内の子幅90cm以上		（最小内の子幅） cm	
	車椅子使用者の通過に支障となる段を設けない。		（段の有無） ・ 有 ・ 無	
車椅子使用者用駐車施設等の構造	出入口に近接した位置に設置			
	幅3.5m以上		（幅） m	
	奥行き6m以上		（奥行き） m	
	水平な床（地）面			
	粗面又は滑りにくい床仕上材		（床仕上材）	
	駐車場である旨及び車椅子使用者用である旨の表示		・ 立て札による表示 ・ 駐車スペースに塗装表示	
出入口から車椅子使用者用駐車施設までの駐車場内の通路	平たんな仕上げ			
	粗面又は滑りにくい仕上材		（床仕上材）	
	排水溝に適切な溝蓋を設置		（排水溝の有無） ・ 有 ・ 無 （溝蓋の構造）	
	段の有無 〔 段がある場合には、(2)の表の駐車場内の通路に設ける段の欄で確認してください。 〕		（段の有無） ・ 有 ・ 無	
	幅員1.4m以上		（最小幅） m	
	高低差がある場合には、傾斜路又は段差解消機を設置 〔 傾斜路がある場合には、(2)の表の駐車場内の通路に設ける傾斜路の欄で確認してください。 〕		（設置する施設の名称） ・ 傾斜路 ・ 段差解消機	

- (注意) 1 記入方法
- (1) 「図面及び路外駐車場の名称又は番号（記号）」及び「設計内容」の欄に必要な事項を記入してください。

(2) 「判定」の欄には、基準又は指針に適合する場合には「○」を、適合しない場合には「×」を、該当する事項がない場合には「／」をそれぞれ記入してください。ただし、判定の欄が「\」になっている場合には、記入の必要はありません。
- 2 用語の説明
- 「段差解消機」とは、車椅子使用者用特殊構造昇降機（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令第18条第2項第6号の規定に基づき国土交通大臣が定める構造の昇降機で車椅子使用者が円滑に利用することができるもの）をいいます。